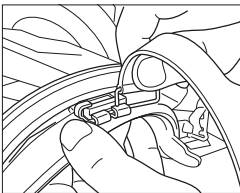


《ノーズカップ用吸気弁》

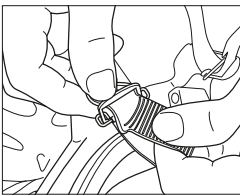
1. 吸気弁をつまんで外します。
2. 新しい吸気弁を、吸気弁座の穴に取り付けます。
※正しく付いていることを必ず確認してください。

《しめひも》

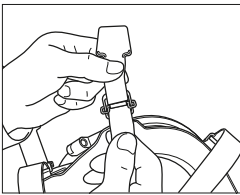
1. 上部2か所は、リングごと外します。



2. 残り4か所は、門環からしめひもを外します。



3. もとどおりに取り付けます。
※しめひもがねじれていないことを確認してください。



■手入れの方法

1. 接顔体、吸気弁、呼気弁、呼気弁座、しめひも等に付着した粉じん、汗などの汚れは、乾燥した布又は水で軽くしめらせた布で拭いてください。
2. 汚れの著しい時には、中性洗剤を少量入れたぬるま湯又は水をスポンジ等に含ませて洗ってください。その場合は十分にすすぎ、陰干しをしてください。
3. マスクを除菌用アルコールで拭いた時は、アルコール分が残らないよう十分に陰干ししてください。

注意	取り外した部分は、もとどおりに正しく取り付け直してください。
注意	洗濯機で洗ったり、乾燥機で乾燥させると、マスクが破損する原因になります。

■保管方法

1. 清潔な冷暗所で乾燥した状態で保管してください。

注意	積み重ねたり、折り曲げて保管すると、亀裂、変形等の原因になります。
-----------	-----------------------------------

■交換の目安

次の項目に該当する場合は、部品を交換してください。

《呼気弁、吸気弁》

破損、亀裂、著しい変形又は粘着性が認められたとき。

《しめひも》

1. 弾力を失い、伸縮不良の状態が認められたとき。
2. 破損、亀裂等が認められたとき。

■廃棄方法

廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（廃棄物処理法）に従って適切に処理してください。

■オプション部品【別売】

●アルコール除菌スプレー

スプレー式の除菌用アルコールです。

●全面形面体専用矯正めがねCG1

水中めがねタイプの矯正めがねです。
レンズは、-1.50～-8.00(0.5間隔、-6.00～-8.00は1.0間隔で)12種類あります。
(専用の曇止液付き)

●カバーグラス

アイピースに貼り付けて、アイピースの汚れ、傷等を防止します。
全体を覆うタイプ#02657(F2)と上半分を覆うタイプ#02658(H2)があります。

●首ひも

マスクを首から吊すときに使用します。

《フィットテスト関連製品》

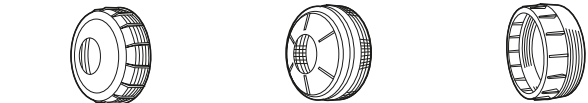
●模擬面体

マスクの定量的なフィットテストを行うために、模擬面体としてS、LサイズはGM165-1、MサイズはGM165-2をご使用ください。

●FTフィルタ#2(ブローブ付)、FTフィルタ#2(ブローブ無)

マスクの定量的なフィットテストを行うために模擬面体に取り付けて使用します。
模擬面体付属のキャップ#50504(C33)又は#02466(C33L)[別売]で取り付けることはできませんので、別売の#50502(D)、#50522(D27)、#02467(DL)又は#02468(D27L)を使用して取り付けてください。
※FTフィルタはフィットテスト用です。実作業では絶対に使用しないでください。

#50502(D)[別売] #50522(D27)[別売] #50504(C33)[別売]
#02467(DL)[別売] #02468(D27L)[別売] #02466(C33L)[別売]



●MNFT PRO (マスク内圧・フィッティングテスター)

顔と呼吸用保護具のフィットの良否(フィットファクタ)を確認するために使用します。
次のQRコードから、当社ウェブサイト「フィットテスト用品」のページを併せてご参照ください。



発売元

エアウォータ防災株式会社

総発売元

この製品の取扱方法、その他について不明な点は、下記へお問い合わせください。

株式会社 重松製作所
SHIGEMATSU WORKS CO., LTD.

本社 〒114-0024 東京都北区西ケ原1-26-1
☎0120-36-0277

空気呼吸器ライフゼムK30、M30用面体 MK-CS 取扱説明書

2026年 4月現在

本品をお買い上げいただき、ありがとうございます。使用前に必ずこの説明書をよく読み、内容を十分ご理解のうえ、正しくご使用ください。この説明書は、いつでも読めるように大切に保管してください。もし、紛失された場合は、総発売元又は販売店へお申し出ください。

■警告表示の定義

本文中に記載されている「危険」「警告」「注意」の表示は、誤った取扱いによる事故を未然に防ぐための重要な内容を示していますので、よく読み安全にお使いください。各表示の意味は次のとおりです。

危険	取扱いを誤った場合、使用者が死亡又は健康上重大な危害を被る可能性が極めて高いことを示します。
警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡又は健康上重大な危害を被る可能性があることを示します。
注意	取扱いを誤った場合、使用者が健康を害するか又は物的損害が生じる可能性があることを示します。

■使用上の注意事項

本品を安全にお使いいただくために、下記の注意事項をお守りください。

危険	<ol style="list-style-type: none"> 1. この取扱説明書は、面体の取扱いについてのみ記載されています。空気呼吸器としての取扱いや注意事項については、空気呼吸器に添付された取扱説明書に記載されていますので、必ずお読みのうえ、正しく使用してください。 2. 本品の用途以外に使用しないでください。 3. 初めて本品を使用される方は、必ず作業責任者の指導を受けてください。作業責任者の指導を受けられない場合は、この取扱説明書をよく読み、不明な点があれば、当社又は販売店へお問い合わせください。 4. 気密不良が生じますので、市販の矯正めがねを付けたまま面体を装着しないでください。全面形面体専用矯正めがね[別売]を使用してください。
警告	<ol style="list-style-type: none"> 1. ホルダーや弁座等の部品が外れたり破損するおそれがありますので、マスクを折り曲げたり、変形させたり、過度な力を加えることはしないでください。 2. 分解・改造を行わないでください。 3. 純正部品以外は使用しないでください。 4. 次の方は、本品を使用しないでください。 <ul style="list-style-type: none"> ・接顔体と顔面との接顔部に入り込むようなひげがある場合。 ・呼気弁の作動を妨害する口ひげ又はあごひげがある場合。 ・体調が不調な場合。 ・呼吸器又は循環器系に疾患がある場合。 ・その他産業界が不適当と認めた場合。 5. 使用前点検を必ず実施してください。 6. 接顔体と顔面との間にタオル等の気密を妨げるものを使用しないでください。 7. 使用中に次のことが生じた場合は、直ちに作業を中止し、安全な場所でマスクを外してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・吸気抵抗が増加し、息苦しくなった場合。 ・臭気、刺激又は味覚を感じた場合。 ・部品が破損した場合。 ・体調に不調を感じた場合。
注意	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本品の使用により、人によってはアレルギー反応や、環境中の有害物質や汗のため、発疹、発赤、かゆみ等の症状が現われることがあります。そのような場合には使用を中止し、皮膚科医等へご相談ください。(そのまま使用を続けると症状が悪化することがあります。)特に、アレルギー体質の方は、発疹、発赤、かゆみ等の症状が現れた場合、直ちに使用を中止してください。



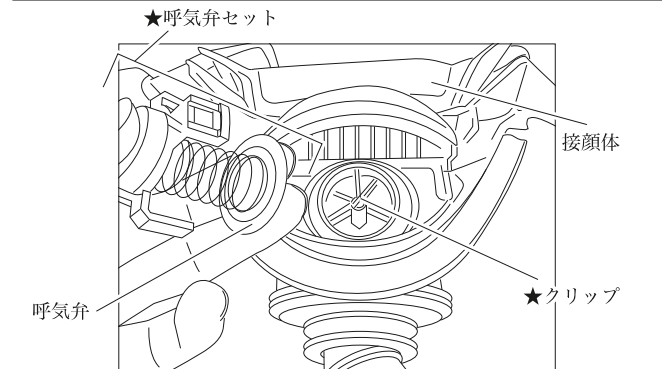
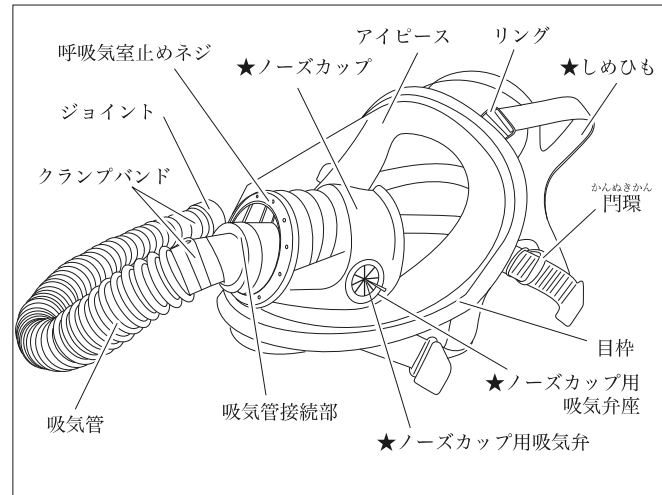
■用途

本品は、酸素欠乏空気、人体に有害な粉じん、ガス、蒸気などを吸入するおそれがあるときに使用する空気呼吸器ライフゼムK30、M30のための面体です。

■特長

1. 全面形ですので、目も保護できます。
2. 立体形状の大型アイピースにより広い視野が得られます。
3. 伝声器付きですので、マスクを装着したままでも明瞭な会話ができます。
4. サイズは、S、M、Lの3サイズあります。
Sサイズ：日本人男性の比較的小さな顔又は日本人女性の標準
Mサイズ：日本人男性の標準
Lサイズ：日本人男性の比較的大きな顔

■構造及び各部の名称



★印の付いている部品は、お客様自身で交換できます。

■交換部品の商品コード

交換部品	商品コード
呼吸弁セット (呼吸弁、円筒コイルバネ、バネ枠)	16019
クリップ	15413
ノーズカップ	16024
ノーズカップ用吸気弁	02329
ノーズカップ用吸気弁座	15416
しめひも	02090

■使用前の点検

点検項目
吸気弁、呼吸弁、しめひも、接顔体、アイピース等に、破損、亀裂、著しい変形等がないか。
吸気弁、呼吸弁及び弁座に粉じん等が付着していないか。
吸気弁及び呼吸弁が弁座に適切に固定され、呼吸弁の気密性が保たれているか。
吸気管接続部及び呼吸気室止めネジの緩みがないか。

《吸気管接続部》

次項の点検で、異常があった場合は、その面体を使用しないでください。

- 図1に示す吸気管接続部の合いマークが、ずれていないことを確認してください。接続部のねじは、合いマークの位置を合わせて製造しています。そのため、合いマークの位置のずれにより、ねじの緩みの有無を確認できます。(図1、図2参照)



図1 合いマークがずれていない状態

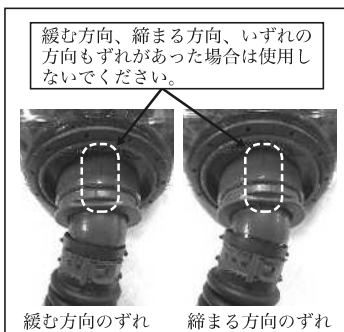


図2 合いマークがずれている状態 (例)

- 面体を固定し、吸気管接続部を手でつかんでねじを緩めるよう反時計方向に回して、ねじが緩まないことを確認してください。(図3参照)

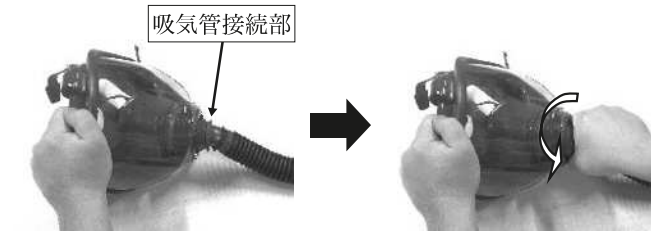


図3 接続部のねじの緩み確認

確認において、合いマークのずれ又はねじの緩みがあった場合は、使用せず、修理又は新しいものに交換ください。

危険 吸気管と面体との接続部に緩みがあった場合、吸気管が外れ、事故に至る可能性がありますので必ず使用前点検を実施してください。

注意 未使用でかつ適正な状態であっても、長期間保管されたものは、吸・呼吸弁等ゴム部品の劣化等が考えられますので、必ず使用前点検を実施して、不良の部品等を交換するか、使用しないでください。

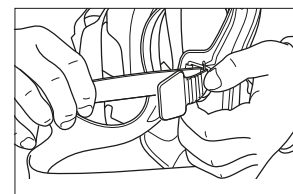
■点検内容及び不具合の処置

点検箇所	点検内容	不具合の処置
接顔体	破損、亀裂、孔あき、裂け、変形等の異常がないか。	新しいマスクと交換してください。
吸気管	吸気管と面体との接続部に緩みがないか。	新しいマスクと交換するか又は修理を依頼してください。
呼吸気室止めネジ	呼吸気室止めネジの緩みがないか。	新しいマスクと交換するか又は修理を依頼してください。
呼吸弁、ノーズカップ用吸気弁	弁がめくれているか。正しく取り付けられているか。汚れ、粉じん等が付着していないか。破損、亀裂、変形、粘着等がないか。弾力性は十分か。	正しく取り付け直してください。汚れを落としてください。新しい弁と交換してください。
呼吸弁座	汚れ、粉じん等が付着していないか。傷や変形等はないか。	汚れを落としてください。新しいマスクと交換してください。
ノーズカップ	弾力性は十分か。破損、亀裂、孔あき、裂け、変形等の異常がないか。	新しいノーズカップと交換してください。
アイピース	汚れていないか。深い傷や割れがないか。視野を阻害する傷、汚れ、歪み等がないか。	新しいマスクと交換するか又は修理を依頼してください。
しめひも	弾力性は十分か。破損、亀裂、変形等がないか。	新しいしめひもと交換してください。

■装着及び着脱の方法

《付け方》

- 吸気管をレギュレーターに接続します。

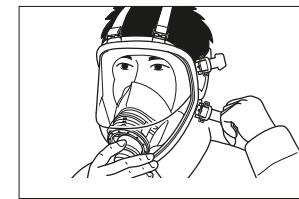


- しめひもを緩めます。門環を起こしながらしめひもを引っ張ると緩みます。

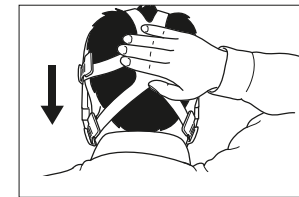
- 両手で左右各2本のしめひもを持ち、接顔体にあごを入れながらしめひもを後頭部にもっていきます。



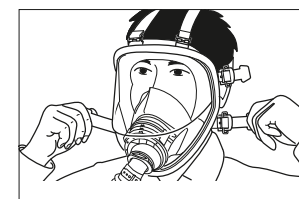
- 接顔体を顔に合わせ、片手でマスクを押えながら、左右のしめひもを下から順に一組ずつしめます。



- 額に隙間ができないように、後頭部のしめひもを下方向に引きつけます。



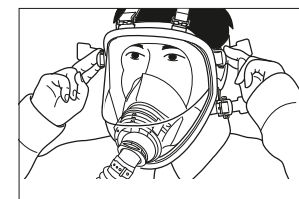
- 左右のしめひもを下から順に一組ずつしめてください。各しめひもは均一になるようしめます。



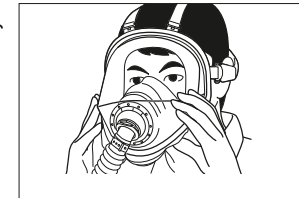
注意 1. あごは面体内に深く入れすぎないようにしてください。
2. 顔と接顔体の間に髪の毛を挟み込まないようにしてください。
3. しめひもを強くしめすぎないでください。密着性が悪くなったり、長時間の作業では不快になつたりしますので注意してください。

《外し方》

- 門環を起こして、しめひもを緩めます。



- 両手でマスクの下部を持って、あごから外します。



■密着性の良否の検査 (シールチェック) 方法

本来の性能を十分に発揮させるためには、密着性が良好でなければなりません。次に示す手順で着用者自身でシールチェックを行い、密着性が良好なことを確認したうえで使用してください。

- マスクを装着し、吸気管の中間を二つ折りにして握ります。
- ゆっくりと息を吸い、接顔体と顔面との接顔部分から空気が流入しないことを確認します。もし、流入を感じたら、マスクの着用状態を直し、再び1を実施して空気がマスク内に流入しないことを確認してください。着用状態を直しても空気の流入を感じるようでしたら、呼吸弁等が確実に付いているかを確認してください。

警告 1. 使用前にシールチェックを、必ず実施してください。
2. 密着性が良好であることを確認できない場合は、使用を中止してマスクの着用状態を直してください。それでも密着性が良好であるか確認できない場合は、安全な場所でマスクの各部分を点検してください。(「点検内容及び不具合の処置」参照)
3. 不具合の処置を行っても正常に機能しない場合は、マスクを廃棄又は修理を依頼してください。

■部品の交換方法

《呼吸弁》

- 呼吸弁カバーを開き、バネ枠を図1のように力を加えて外します。

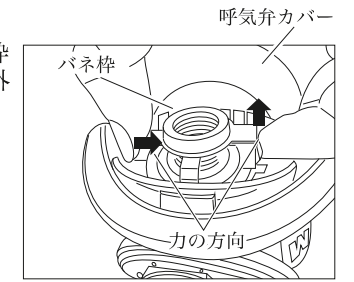


図1

- 新しいクリップ、呼吸弁、バネ枠、円筒コイルバネを図2のように配置する。



図2

- 図3のように呼吸弁の軸を弁座の孔に挿しこみ、バネ枠の孔にツメをかみ合わせるようにはめ込む。

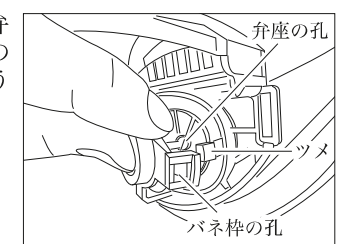


図3

- 呼吸弁カバーを閉じる。

注意 呼吸弁を交換する時は、呼吸弁座を傷つけないように注意してください。呼吸弁座に傷が付くと気密不良の原因となり、マスク本来の性能が著しく低下します。

《ノーズカップ用吸気弁座》

- ノーズカップの孔を広げて吸気弁座を外す。
- 新しい吸気弁座をノーズカップの孔に取り付ける。

《ノーズカップ》

- 図1のようにノーズカップ孔を広げながら面体から外す。



図1

- 新しいノーズカップの孔A及びBを合わせて面体に取り付ける。(図2)

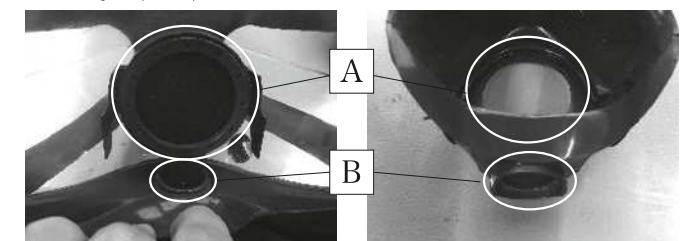


図2

- 図3のように縁が浮いている部分がないように取り付ける。



図3